

社会福祉法人安房広域福祉会 広報誌

にじのかけはし

vol.
63
2024.11



発行年月日
令和6年 11月15日

発行
社会福祉法人 安房広域福祉会
〒294-0231 千葉県館山市中里288-1
TEL 0470-28-2022
FAX 0470-28-2023
<http://www.nakazato.or.jp/>

中里の家

「中里の家」新居住棟が完成



玄関ホール



廊下通路



ダイニング



食堂



トイレ



浴室



浴室



居室

以前はグラウンドとして利用していた土地を活用して、木造平屋建て、床面積は914.62㎡、個室30部屋で食堂、ダイニング、浴室、トイレなど整備し、バリアフリーで障害の重い利用者の方々や高齢の利用者の方々に對し生活環境の向上と非常時の安全な避難誘導ができる防災対策の強化や感染症への対策も図れ、安全に暮らすことができる住環境を整備することができたと思います。今回の居住棟建設にあたり、設計監理では鈴尚フリーダム設計室、工事では渡辺建設株式会社に大変お世話になりました。また、中里の家保護者会からは食堂とダイニングに壁掛けテレビの寄付をしていただきありがとうございました。

現在は女性利用者30名が利用しており、生活環境にも慣れて個室にて快適に過ごされております。今後は既存の建物をリフォームして男性利用者にも快適に過ごしていただけるよう整備を進めていきたいと考えております。

令和6年6月に中里の家新居住棟が完成しました。中里の家は昭和62年4月に入所定員50名で開所いたしました。平成2年に30名増床し、定員80名とし、平成22年にグループホームへ9名が移行したため定員70名で運営してきました。開所してから、いろいろな建物の改修工事はしてきましたが、居室は3〜4名の部屋であり、近年では個室化が課題となっております。そんな折、令和4年12月に社会福祉施設等施設整備補助金が採択され、新居住棟の建設を進めてまいりました。

統括施設長 畠山正昭

法人

ふれあい夏祭り

支援員 飯田 麻衣子

7月24日、コロナウィルスの流行を経て、約4年ぶりに法人全体で夏祭りを開催することができました。以前はグラウンドを使用していた夏祭りですが、中里の家の新棟が開所したため、施設前の駐車場スペースにステージや夜店を設置して行いました。やわたの杜のコーラス、なないろダンスサークルとフラダンスの素敵なダンスで、会場はとても盛り上がりました。

夏祭りの楽しみは、何といっても夜店！ということで、焼きそば、フランクフルト、唐揚げ、串焼き、かき氷等々…。利用者の皆さんの要望に応え、たくさん用意しました。利用者の皆さんは、好みの物を購入し、夏祭りを楽しまれていました。

地域の方々も330名ほど来場され、貴重な交流の場となりました。来年も皆様と楽しい時間を過ごせることを楽しみにしています。



桜の里

オバケをやっつける

支援員 相馬 紫保

「おく当たった」「意外と威力があるね」「〇個倒れたよ」とある8月の午後そんな声
が飛び交ったのは創作活動での「コマ」。普段
は、季節感のある装飾品を製作していることが
多いのですが、今回は遊びを取り入れてみまし
た。夏ということでお化けを撃退・的当てゲ
ームの開催です。みんなで作ったお化けのイラ
ストが貼ってあるペットボトルの的に点数をつ
けて、丸めたティッシュの玉をゴム鉄砲にセッ
ト。よく狙いを定めて打つと思いのほか勢い
よく飛び歓声が上がります！初めは的になか
か当たらず、鉄砲を微調整しつつ徐々に当たり
始め、最高得点を倒すと一番の盛り上がり！応
援に熱が入るのも、上位3名には景品が贈呈さ
れるからか？結果はいかに：オリンピック並み
の白熱さがありました。



中里の家

ディズニーランドに行ってきました！

支援員 天野 孝也

9月17、18日と東京ディズニーランドと千葉市科学館に旅行に行ってきました。
宿泊を兼ねた個別旅行は5年ぶりとなり、利用者さんからはだいぶ前から「いつ
行くの?」「乗り物は何があるの?」と楽しみにされている様子が見られました。
私自身も久々のディズニーランドで色々分岐もなく浦島太郎状態でした(笑)皆
さん好きな乗り物に乗りたり、気に入ったお土産を購入されたりして楽しそうに過
ごされていました。

2日目は千葉市科学館に行ってきました。視覚や音のゲームを楽しまれ、昔の家
電やゲームが展示され懐かしんでいました。

最後に、施設に帰所した際に、利用者さんに「ありがとう」と言われてとても嬉
しく感じました。この仕事に就いて改めて良かったと思っただけでなく、行事になりました。



ケアホーム
平砂浦

二泊三日の北海道への旅行

落合 正文

北海道は千葉よりも暑くなくて、いいなと思います。さっぽろゆきまつりのかいじょうがあり、北の国からのロケ地にも行きました。食べものもおいしいし、僕も北海道に住みたくなりました。

神作 武敏

千歳空港についていちばんにおもったことは、涼しいということでした。

レンタカーでいどうして、苫小牧市ウトナイ湖で朝ごはんにカレーライスを食べました。そのあとは牧場で馬を見たり、ソフトクリームをたべたり、みそラーメン、ジンギスカンもたべました。なにをたべてもとてもおいしくて、うらやましくなりました。

小樽のフェリーのりばでは、「らべんだあ」という名前のフェリーがとまっています。船がすきなので、ここでしか見られない船が見られてうれしかったです。

北海道は、とってもすてきな場所でした。またぜひ北海道へ行きたいです。

山田 和満

ラベンダー畑がとてもきれいでよかったです。北の国からのロケ地を見ることができて感動しました。北海道の食事はどれも美味しくて、ジンギスカンや味噌ラーメン、海鮮丼を食べました。

北海道はどこを見てもとても広くて、いいところでした。



こすもす

灼熱の夏を思い切り楽しむ！

保育士 山田 真奈美

年々暑くなる夏に負けず、全力で夏を楽しみました。プールは午前中に楽しみ、午後は休憩を取りつつドライブ。今年はボウリングにも挑戦し、ひまわり畑にも行ってきました。子供達も暑さに負けず毎年パワーアップしています。

ワークス 館山

地元企業とタイアップ

支援員 川上賢人

中里ワークホーム同様に木村ピーナッツさんからの依頼を受けて農福連携の取り組みを行っています。

8月中旬よりササゲの殻取り・選別と落花生選別作業を行いました。当初は選別基準や脱穀方法等、試行錯誤した面もありましたが、その都度、担当者の方に確認し、わかり易い指導をいただきながら進めることができました。

みんなが知っている地元の有名店と一緒に仕事ができていることは、それぞれの仕事に対するモチベーションアップにつながっています。

『そうだ、週末はピーナッツソフトを食べに行こう！』



こすもす

ウキウキ！ワクワク！アツい！お楽しみ遠足

保育士 石井真理子

10月4日、アロハガーデンたてやまへ遠足に行きました。お天気が直前まで心配でしたが、そんなことが嘘のように真夏のような晴天と暑さ！お天気の神様が張り切ってくれたようです。(笑)

皆、動物とのふれあいをとても楽しみにしていたようでご飯をあげてみたり、優しくなでてあげたりと子どもたちの生き物を大切に思う姿や、キラキラした笑顔を見てとても嬉しい気持ちになりました。

最後にはパン食い競争で大盛り上がり！とても楽しい、アツい遠足になりました。



夏のひとときを感じて

支援員 村田 陽菜

今年も毎年恒例の、夏祭りを開催!! 水あめやフランクフルト、ポップコーンなどの出店は大盛況。利用者のみなさんは、なぜか「いらっしやいませ〜」と言いながら並んでいて、店員さんなのか?お客さんなのか?といった感じだったので、その光景を何とも微笑ましく感じました。
そして、かき氷VSアイスクリーム対決の行方は、なぜかアイスクリームばかりに列ができるという結末。その他、魚釣りや水風船投げ、ボウリング、スクラッチアートなども行い、夏のひとときを感じていただきました。来年はどんな夏祭りになるのか今から楽しみです。



職員の趣味や日常の1コマを紹介しします

山本の部屋

第10回は 中里の家 支援員 山本 大介さん



父親の影響で小さい頃から空手、ギターとピアノを始めた。今でも続けているのが空手で週3日稽古をしている。

小学校の頃は空手マンガやK-1を観て、強くてカッコイイと憧れを抱いて育ってきた。

大人になり空手をやらなくなっていたが、自分の子供達がやりたいたいと言いつつ空手道場に入門した。稽古の様子や試合など見ていると興奮している自分がいて、自分も入門することに。稽古は痛いし辛いがとても楽しい。たまに試合に出場するが、その緊張感はずいぶん生活では味わえない経験で良い刺激になっている。

自分にとって精神面、肉体面を鍛えられるし、健康的だと思おうので、身体が動くまで日々鍛錬し楽しく過ごしていければと思います。

第11回は

次回、誰が登場するのかお楽しみに!

中里 ワークホーム

稲刈り

支援員 荒井喜世人

暑さも落ち着き今年度の稲刈りも色々な方々の、ご協力により無事終えることができました。

昨年は稲の発育時期に猛暑日が1週間以上続いて、水田に水が回ってこない状況で不作になり、今年も稲刈り期間にゲリラ豪雨や雨続きで作業に影響を及ぼすことに・・・農業をやっていると年々気候が変わっていくことを感じます。

しかし、今年の発育期間は天候良好で、水不足もなくお米も良く育ちました。毎年作付面積は減少傾向にあります。穂なりも良好な状態で多く収穫することができました。

お客様や利用者の皆さんに、お腹いっぱい食べてもらいたいです。

そして・・・来年は過ごしやすく天気も暑さも平年並みでゲリラ豪雨や台風災害も無い良い年なることを願っています。



和麺家中里

「〇〇南蛮」ってなに？

支援員 伊藤学

やってきました、「食欲の秋」！そんな中、そば好きの私としては、やっぱり「新そば」は大きな楽しみの一つです。味はもちろん香りも強く、「日本」の食を感じる瞬間ですよ。

お蕎麦は日本の代表的な食べ物というのは皆さん御承知のことですが、そこで今回はこんな疑問！よくお蕎麦屋さんのメニューで「〇〇南蛮そば」なんて書いてありませんか？あれ、ちょっとまって！「南蛮」って、お蕎麦は日本のものではないの？今回はそんな疑問に迫ってみたい。よく見るメニューで代表的なのは「鴨南蛮そば」ですかね。鴨肉とネギが入って熱い汁を掛けて食べるそばです。そう、実は鴨南蛮の「南蛮」とは文字通り単純に「ネギ」のことを指しています。江戸時代、来日した南蛮人（ポルトガル人やスペイン人）は、健康維持のため母国で食べていた玉ねぎの代わりにネギを好んで食べていたようです。玉ねぎの代わりにネギを大量に食べる南蛮人の姿は、当時の日本人の目からは「彼らはとてもネギが好きなんだなあ」という印象になり、ネギを「南蛮」と呼ぶようになったそうです。ちなみに、関西の方では「鴨なんば」と呼び、これはまた少し違った意味があるそうなので、それはまたの機会に。

新そばの季節ともなりました。皆さんで秋を楽しみつつ、「南蛮」で遠い外国に思いを馳せながら、「新そば」で日本を心から感じてみませんか。和麺家中里で皆さんのお越しを心よりお待ちしております。

また、気付けば年の瀬ももう間近。年越しそばの御用命も承っております。



お問い合わせ先

和麺家中里

千葉県館山市北条1239-1
0470(25)7322

営業日・時間

月～金曜日 11:30～13:30

